



絶対に行けない世界の非公開区域99 (日経ナショナルジオグラフィック社)

世界にはさまざまな理由による「立ち入り禁止」エリアがある。米国疾病対策センター、燃えつつける町・セントラリア、パチカン機密文書館、伊勢神宮など、世界中の立ち入り禁止エリアを250点の写真・地図で紹介する。



古地図が語る大災害 本渡 章 著 (創元社)

大阪を中心とした関西の古代から近代までの古地図・瓦版等を題材に、歴史上繰り返されてきた大地震・津波・大火といった大災害の記録を読み解く。折り込みの新離大坂細見全図、災害モニユメント探訪記等付き。



ねこ探! (小学三〜四年生向け) 村上 しいこ 文 (ポプラ社)

知るねこそ知る「ねこたま探偵団」。商店街の平和は、彼らにかかっている。それなのに、いきなり解散!?人の手もかりたいねこたちが、家族の人間を巻き込んで大さわぎ。活躍するのは、ねこ?人間?

2/28 図書室休館のお知らせ
資料整理のため、2月28日(土)は、図書室をお休みします。
3月1日(日)からは平常どおり利用できます。
問合せ 社会教育センター 図書室 28・5449



豊山俳句クラブ

青山克己 選

- 沙羅もみじ開山堂は仄暗し 坪井昭子
いつかしら冬が来てあるガラス窓 岡島 齋
小春日の海おだやかにひかりをり 杉浦みどり
秋風の流るる気賀の関むかし 小塚美枝
北風の来るぞ背中のみるまわり 石黒貴代子
宇格子そも木枯の気賀の関 杉本衿子
冬浅し古刹に僧の和む声 坪井径子
竹林の風凜々と凍てつきて 安藤春一
湾曲の岬むかふは冬の海 田村多喜子
北方に有刺鉄線冬の雨 高木須磨子
かぐわしき古都の香届く今年米 村上ゆり子
黄落の空ごと崩れゆきにけり 青山克己

豊山歌壇

水野笑子 選

- 燃えつくすいのちの火かとも思ふ 程鶏頭の花輝きて咲く 佐藤良子
柴田満枝
天に昇り来る満月見上げれば 柴田満枝
胸に浮かぶ父母の思ひ出 鈴木弘香
菊日和ゆたかな香り広ごりて 鈴木弘香
吾も菊花を墓前に手向けぬ 鈴木弘香
戦中を生き来し吾等今にして 水谷弘子
デイサービスに身体やしなふ 水谷弘子
秋日和噴煙のぼる雲岳 村上一枝
秋高し冷ゆる大気に実りては 水野勝代
揺るるリングゴの一際紅く 水野勝代
古い夫を気遣ふ事の多かりし 水野恵子
吾がストレスを彼は知らざる 水野恵子
字面まで美しきリングゴ紅玉を 山田 米
用ひてクレープ焼きて楽しむ 山田 米
年重ねてよく喋ること常とする 渡辺トヨ子
春夏秋と過ぎるも早し 渡辺トヨ子
木枯しの乱吹く夕暮れ鴨渡る 中澤芳子
鳴き合ひながら池に着地す 中澤芳子

編集後記

バスの車内放送で「小さなお子さまをお連れの方に席をお譲りください」と聞いたときのことである。私は「お子さま」という言葉について考えた。「子」という一文字一音だけで言葉の意味は伝わるのになぜ「お子さま」なのだろうか? 私たちの暮らしの中で、このような言葉の言い換えは日常的に、ごく自然に行われている。たとえ文字数が増えようと、「子」を「お子さま」と表現することによって、バスの車内放送としてふさわしい丁寧な言葉となるのだ。改めて考えなおしてみると、日本語の奥深さに気づかされる。▼役場に勤務している、電話、窓口、文章などで様々な世代の人と多様なコミュニケーションをとる機会がある。私はその度に、言葉遣いについて考える。同じ内容を伝えるにしても、お年寄りに説明するには、若者に説明するには、どのような言葉で表現したら伝わりやすいのだろうか。後になって、この伝えた方がよかった、と反省することも多々ある。▼私がバスで聞いた車内放送のように、ただ意味を伝えるのではなく、伝えたい相手や場面に適した表現をできるかが、コミュニケーションの要である。頭の中で思っている、実践するとなるとなかなか難しい。▼町民の方々と明るいコミュニケーションを図ることのできる職員となるためにも、日本語の勉強はまだまだ終わらない。